

適用規格				
定 格	使用温度範囲	-35℃～ +105℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注3)
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注3)
	嵌合コネクタ	DF62B-5S-2.2C(##) DF62C-5S-2.2C(##)	電 圧	AC/DC 250V
	適合端子	DF62-EP22PC* DF62-EP2428PC* DF62-EP30PC*	電 流	AWG#22 : 3 A AWG#24 : 2 A AWG#26-30 : 1 A

性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ表示	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
		目視にて確認する。		○	○
電 気 的 性 能	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30回の抜き差しを行う。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3方向各10サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3軸両方向各3回試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95%中に 96時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)	①絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 → 30分 を5サイクル試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)	①絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—

備考

- (注1) 通電時の温度上昇を含む。
- (注2) 結露のないこと。
- (注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。  
基板搭載後、輸送時の一時保管は使用湿度範囲を適用。

△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△0				
			承認	KI. AKIYAMA 13.09.10
			検図	OM. MIYAMOTO 13.09.10
			担当	TH. YOSHIZAWA 13.09.09
			製図	MI. SAKIMURA 13.09.04
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番 SLC4-351966-02		
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名 DF62B-5EP-2.2C(18)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード CL544-0561-3-18	
				△0 1/1